

市丸小だより

令和8年6月8日 第5号

「だれもが居心地のよい学校」をめざして
保護者・地域と市丸小「つなげるつながる」

市丸小学校 校長 守口 多恵子

自分の命は 自分で守る

6月3日(水)の5時間目に、風水害を想定した避難訓練と集団下校を行いました。

校長からの話の中で、「昨年・一昨年の大雨の時に見た市丸の様子」や、災害が人の命も奪うほど恐ろしいこと等を子ども達に伝えました。

写真は、動画視聴をしているときの様子です。その中で、雷についての話が出てきました。「『光ってから音がするまで〇秒かかったから、大丈夫』などと聞かされたけど、それは間違いで、雷が落ちないとも限らない。だから、すぐに安全な場所に避難すること」などの説明があり、子ども達はとても驚いていました。命を守る行動について、みんなが自分事として学ぶことができたようです。

ところで、お子さんに「**自分の命は**…**の続きは?**」と聞いてみてください。この2年間あまり、避難訓練のたびに「**自分の命は 自分で守る**」を合言葉にしてきました。2年生以上の方は、言えるお子さんも多いのではないかと思います。まずは、「命を守るために すべき行動をとること」。学校では避難訓練の際、命を守る行動について考える時間があります。ご家庭でも”いざという時の行動”について、親子でお話をされるきっかけになればと思います。



読み聞かせタイム 盛況です!

毎週金曜日の昼休み、学校図書館職員が図書室で読み聞かせをしています。写真でお分かりのように、たくさんのお子さんが図書室へ来て、真剣にお話を聞きます。中には、毎週楽しみにしてやって来る子ども達もいるほどです。

北九州市が今年度、教育で重点をおく柱に「AI と読書」があります。先日、市が発行した「電子図書」のカードを全校児童に配布したところ。今後、ご家庭にも持ち帰ることがあると思いますので、電子図書の中身を是非ご覧ください。

◀ 校長室から ▶

毎週木曜日の給食時間に「こころの放送」と題し、子ども達に向けて私からいろいろな話をしています。先日は、ある1年生に感心した話をしました。ほうきで掃きながら教室を巡回している私に、「ありがとうございます。」という1年生の一言。このことを、子ども達にこう伝えました。「自分たちのためにしてくれているとわかって、そこに感謝の気持ちをもっていること。それだけでなく、自分の言葉で気持ちを相手にきちんと伝えることができたこと。それが素晴らしいなと嬉しく思いました。」

さりげない一言も大切に、そこに大人が価値付けをすることで、子ども達はさらに伸びていくと思います。“お子さんの一言への価値付け”、ご家庭でもいかがでしょう。